

令和五年度 奈良県租税教育推進連絡協議会長賞

私の村とふるさと納税

下北山小中学校 九年 上田 百恵

テレビでふるさと納税のCMなどをよく見ます。しかし、私はふるさと納税がどんなふうに使われるのかよく知りませんでした。そのため、ふるさと納税はどのような仕組みで市町村に納められ、どんなふうに使われるのか気になりました。

ふるさと納税とは自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで寄付できる制度です。仕組みとしては、本来は住んでいる自治体に納めるはずの税金を任意の自治体に寄付することで、住民税や所得税が控除されるという仕組みです。また寄付者には、返礼品として、選んだ市町村の特産品や工芸品、宿泊券などが貰える場合があります。寄付者は返礼品を選ぶことができるそうです。私はこの制度はとてもいいなと思いました。寄付者は地域を応援したいと思って寄付し、市町村はその気持ちに対して、お礼をします。人々の優しい心で国や市町村が支えられていると感じられました。

ふるさと納税の寄付金の使い道は市町村によって異なりますが、地域活性化や子育て応援、災害などの復興支援などに使われるそうです。

私が住んでいる下北山村にもふるさと納税を寄付してくれている人がいます。私が中学一年生の時、村の製材所に行かせてもらう機会があり、その時にふるさと納税のお話も少し教えてもらいました。そのときにふるさと納税の返礼品で木で作られたまな板が人気だということも教えてもらいました。そのことを聞いたとき、私は沢山の人がこの下北山村のために寄付してくれ、下北山村のものを使ってくれているんだなと思い、嬉しくなりました。下北山村のふるさと納税の使い道は、地域活性化や子育て支援などの他にも、地域産業の振興や、観光に関する事業、自然を守ることなどがあります。また、少し前には私達が通う下北山小中学校が新しく建てられました。その学校の備品の一部をふるさと納税で購入してくれていたそうです。学校の校旗や学校門の木製プレート、グランドピアノなど、私達が学校で生活や授業をする上で必要なものをふるさと納税のおかげで使えていることを知りました。普段当たり前に使っていたものも、色々な人のおかげで使えていると思うと、とてもありがたいことだなと思いました。

私は下北山村が大好きです。だから、ここに住んでいない人でも、下北山村のことが好きで応援してくれることはすごく嬉しいです。ふるさと納税のことを調べているときに、応援コメントのようなものが出てきて、見てみると、沢山の人がコメントしてくれていました。ふるさと納税は、みんなが優しい気持ちを持っているからこそできる制度なんだなと思いました。私も将来自分に住んでいる地域だけじゃなく、他の地域にも目を向けて、頑張っている所を応援したいなと思いました。